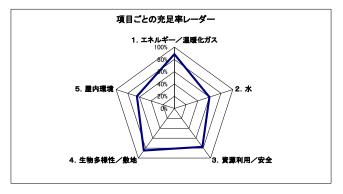
【**八**5BEE®-不動產 【物流施設】 ▮ 評価結果 ▮

建物概要		
建物名称ロジポート堺南島町	敷地面積 15,373	m ² 評価の段階 運用段階評価
建設地 大阪府堺市堺区南島町5丁162番		
用途地域 工業地域	延床面積 30,826	m ² 作成者 宮木 聡
建物用途 物流施設	階数 地上4F	不動産評価員番号 ふ-000804-22
竣工年月 2016年10月	構造 鉄骨造	確認日 2020年6月15日
直近の大規模改修実施年月	平均居住人員	人 確認者 橋本 幸夫
	年間使用時間 8,760	時間/年 不動産評価員番号 ふ-000805-24
評価結果		2 7 7 1 1 1 1 1 2 2 7 2
70.0 (400 🗛	The second secon	S ランク;★★★★★ ≥ 78 A ランク:★★★★ ≥ 66
79.2 /100 合計 (得点 / 満点)	****	
(特点 / 凋点)		B+ランク;★★★ ≧ 60 B ランク;★★ ≧ 50
ポイントは小数点第1位までの表示とする		
1. エネルギー/温暖化ガス		
評価 最大加点		指標 (*は参考値) 評価値
適合 必須項目	;省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理	
1.0 加点 1 根拠	等省エネ計画書、エネルギー使用量と次年度目標、運営体制図	ー次エネルギー(目標値) MJ/m ² ・年
18.0 20 1.1 使用•排出原		25 - 1 1 1 (5 m t)
根拠:	等 省工 本計画書	一次エネルギー(計画値) MJ/m²・年 二次エネルギー(*) kWh/m²・年
	11111 画音	- 次エネルギー() CO2排出量(*) kg-CO ₂ /m ²
2.0 5 1.2 使用•排出原	単位(字統値)	Kg-CO ₂ /III
根拠		水道光熱費 1,175.7 円/m ² ·年
	水道光熱費	
		j
5.0 5 1.3 省エネルギー		
	等[1)、5)、8)、10)、11)について取組	導入された対策項目数 5.0 項目
5.0 5 1.4 自然エネルギ _{担加}	:— 等	利用率 132.0 %
11.0 35 合計	サ / ハドダノビノビ 电 以 網	132.0 %
2. 水		
評価 最大加点		指標 評価値
適合 必須項目	;目標設定、モニタリング、運用管理体制	
	等 水使用量と次年度目標、節水運営体制図	水使用量(目標値) L/m ² ·年
0 2.1 水使用量(計:		1
6.0 10 2.2 水使用量(仕		水体用量(計画値)
^R ₩.	等 1)、2)について取組 (評価しない)	」 水使用量(計画値) L/m ² ・年
6.0 10 合計	展展 / 計画しない	-
3. 資源利用/安全		
評価 最大加点		指標 評価値
適合 必須項目	; 新耐震基準への適合またはIs値、If値	7 40
	等 2016年10月竣工	
4.0 5 3.1 高耐震・免震 3.0 3.1.1 耐震性	第 3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価	Ц
	等 建築基準法に準拠(Qu/Qunの余裕度 1.23以上)	1
4.0 3.1.2 免震・制震・制		-
	等 二重鋼管ブレースの採用	
	☑·廃棄物処理負荷抑制	_
3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する	- 5 7
3.2.1 再生材利用率 5.0 ① 躯体材料	「しと②の平均で評価する 高炉セメント	<u></u>
3.2.1 再生材利用率 5.0 ① 躯体材料 4.0 ② 非構造材料	①と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目
3.2.1 再生材利用率 5.0 1 躯体材料 4.0 2 非構造材料 3.2.2 廃棄物処理負 4.0 5 3.3 躯体材料の齢	・ ①と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 荷抑制 評価しない	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目
3.2.1 再生材利用率 ① 躯体材料 ② 非構造材料 3.2.2 廃棄物処理員 4.0 5 3.3 躯体材料の 根拠・	・ ①と②の平均で評価する 高炉セメント ビール床他 (荷抑制 評価しない 月年数	リサイクル材品目数(非構造材 2 経過年数十今後の想定耐用年 65
3.2.1 再生材利用率	(下と2の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 荷抑制 評価しない 等 耐用年数65年 4の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理・1,3.4.2,3	リサイクル材品目数(非構造材 2 経過年数十今後の想定耐用年 65
3.2.1 再生材利用率 ① 躯体材料 ② 非構造材料 3.2.2 廃棄物処理負 4.0 5 3.3 躯体材料の耐 根拠 3.0 5 3.4 主要敗債機器 4.0 3.4.1 主要設備機器 3.4.1 主要設備機器	(下と②の平均で評価する	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 経過年数+今後の想定耐用年 65 4.3の平均
3.2.1 再生材利用率	(下と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 荷抑制 評価しない 清用年数 等 耐用年数65年 *の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理 .1,3.4.2,3. の更新必要間隔 等 受変電30、空調機15、ポンブ類25	リサイクル材品目数(非構造材 2 経過年数十今後の想定耐用年 65
3.2.1 再生材利用率	(下と2の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない 等 耐用年数65年 ・の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理.1,3.4.2,3.9 で更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理.1,3.4.2,3.9 で更新必要間隔 受変電必。空調機15、ポンブ類25 の自給率向上	リサイクル材品目数(非構造材 2 最適年数十今後の想定耐用年 65 4.3の平均 年 更新年数の平均値 23
3.2.1 再生材利用率	(下と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 荷抑制 評価しない 清用年数 等 耐用年数65年 *の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理 .1,3.4.2,3. の更新必要間隔 等 受変電30、空調機15、ポンブ類25	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 経過年数+今後の想定耐用年 65 4.3の平均
3.2.1 再生材利用率 ① 躯体材料 ② 非構造材料 3.2.2 廃棄物処理員 4.0 5 3.3 躯体材料の耐 4.0 3.4.1 主要設備機器 根拠 1.0 3.4.2 設備(電力等) 4.0 3.4.3 維持管理 4.0 3.4.3 維持管理	(下と2の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない 等 耐用年数65年 ・の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理.1,3.4.2,3.9 で更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理.1,3.4.2,3.9 で更新必要間隔 受変電必。空調機15、ポンブ類25 の自給率向上	リサイクル材品目数(非構造材 2 最適年数十今後の想定耐用年 65 4.3の平均 年 更新年数の平均値 23
3.2.1 再生材利用率 ① 躯体材料 ② 非構造材料 3.2.2 廃棄物処理負 4.0 5 3.3 躯体材料の耐 4.0 3.4.1 主要設備機器 根拠 1.0 3.4.2 設備(電力等) 4.0 3.4.3 維持管理 4.0 3.4.3 維持管理	画炉セメント ビニル床他 荷抑制 評価しない 付用年数 等 耐用年数65年 砂更新必要関隔/股備の自給率向上/維持管理 .1,3.4.2,3. 等 受変電30、空調機15、ポンプ類25 の自給率向上 等該当なし	リサイクル材品目数(非構造材 2 経過年数+今後の想定耐用年 65 4.3の平均 年 更新年数の平均値 23 自給率向上の取組数 項目
3.2.1 再生材利用率	画炉セメント ビニル床他 荷抑制 評価しない 付用年数 等 耐用年数65年 砂更新必要関隔/股備の自給率向上/維持管理 .1,3.4.2,3. 等 受変電30、空調機15、ポンプ類25 の自給率向上 等該当なし	リサイクル材品目数(非構造材 2 経過年数+今後の想定耐用年 65 4.3の平均 年 更新年数の平均値 23 自給率向上の取組数 項目
3.2.1 再生材利用率	画炉セメント ビニル床他 荷抑制 評価しない 付用年数 等 耐用年数65年 砂更新必要関隔/股備の自給率向上/維持管理 .1,3.4.2,3. 等 受変電30、空調機15、ポンプ類25 の自給率向上 等該当なし	リサイクル材品目数(非構造材 2 器過年数+今後の想定耐用年 65 4.3の平均 年 更新年数の平均値 23 自給率向上の取組数 項目 維持管理に関する取組数 9
3.2.1 再生材利用率	(下と2の平均で評価する 高原セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない 用年数 ・ の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理 .1,3.4.2,3. ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	リサイクル材品目数(非構造材 2 最過年数+今後の想定耐用年 65 4.3の平均 年 更新年数の平均値 23 自給率向上の取組数 項目 維持管理に関する取組数 9 ポイント 指標 評価値
3.2.1 再生材利用率	(下と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 荷抑制 評価しない 用年数 ・・ 耐用年数 ・・ の更新必要間隔/股備の自給率向上/維持管理 1,3.4.2,3. ・ 要変電30、空調機15、ボンブ類25 の自給率向上 ・ 勝当なし 等 (1)、2)、4)、6)について取組 ・ (1)、2、4、6)について取組	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 品目 品目 日本
3.2.1 再生材利用率	(下)と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 押年数 等 耐用年数65年 (の更新必要関隔/設備の自給率向上/維持管理.1,3.4.2,3.5 等 受変電30、空調機15、ポンプ類25 の自給率向上 等 該当なし 等 (1)、2)、4)、6)について取組 : 特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用 等 自ら導入していないことを確認	リサイクル材品目数(非構造材 2 最過年数+今後の想定耐用年 65 4.3の平均 年 更新年数の平均値 23 自給率向上の取組数 項目 維持管理に関する取組数 9 ポイント 指標 評価値
3.2.1	(下と2の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない 用年数 の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理 .1,3.4.2,3.9 の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理 .1,3.4.2,3.9 の更新必要間隔 受査電の、空間機15、ポンプ類25 の自給率向上 修監当なし 等	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 品目 品目 日本
3.2.1 再生材利用率	(下)と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 押年数 等 耐用年数65年 (の更新必要関隔/設備の自給率向上/維持管理.1,3.4.2,3.5 等 受変電30、空調機15、ポンプ類25 の自給率向上 等 該当なし 等 (1)、2)、4)、6)について取組 : 特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用 等 自ら導入していないことを確認	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目
3.2.1 再生材利用率 1.0 級体材料の 3.2.2 廃棄物処理負債	(下上2の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない 月 月年数 (7 更新必要間隔/ 設備の自給率向上/維持管理 .1,3.4.2,3.3 (7 更新必要間隔/ 設備の自給率向上/維持管理 .1,3.4.2,3.3 (7 更新必要間隔 (7 更新必要間隔 (7 更新必要間隔 (7 更新必要問際 (8 世級) (7 更新必要問題 (8 世級) (8 世級) (8 世級) (9 世	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目
3.2.1 再生材利用率	(下)と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない (荷抑制 評価しない (神) (利	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目
3.2.1 再生材利用率 1.0	(下)と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制) 評価しない 1月年数 等 耐用年数65年 (の更新必要関隔/股備の自給率向上/維持管理.1.3.4.2.3.6 の更新必要問隔 等 受変電の。空調機15、ポンプ類25 の自給率向上 等 [1)、2)、4)、6)について取組 ・特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用 等 [1)、3)、5)について取組 ・プラウンフィールド再生 等 土地の形質に伴う措置 の接近性 の接近性	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 品目 品目 名
3.2.1	(下)と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない 	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目
3.2.1 再生材利用率	(下)と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない (荷抑制 評価しない (神) (利	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 品目 品目 日本
3.2.1 再生材利用率	(下)と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制)	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 品目 品目 名
3.2.1 再生材利用率 1.0 躯体材料 3.2.2 廃棄物処理負 4.0 5 3.3 躯体材料の理 4.0 3.4.1 主要設備機器 4.0 3.4.1 主要設備機器 4.0 4.0 3.4.2 設備(電力等) 根拠 4.0 3.4.3 維持管理 4.0 4.1 生物多核性 4.0 5 対策不要は対象外 5.0 5.0 5.0 5.0 4.3.1 公共交通機関 4.3.1 公共交通機関 4.3.2 交通結節 点水 4.3.2 交通結節 点水 4.3.2 交通結節 点根拠 5.0 4.3.2 交通結節 点形 4.3.3 公共交通機関 4.3.2 交通結節 点形 4.3.3 公共交通機関 4.3.4 公共交通格関 4.4 自然災害財政 4.4 自然税 4.4 自然災害財政 4.4 自然災害財政 4.4 自然災害財政 4.4 自然災害財政 4.4 自然税 4.4 自然災害財政 4.4 自然税 4.4 自然党 4.4 自然党 4.4 自然税 4.4	(下)と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない 伊用年数 の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理.1,3.4.2,3.3 の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理.1,3.4.2,3.3 等 受変電の。空調機15、ポンプ類25 の自給率向上 等 (1)、2)、4)、6)について取組 (1)、2)、4)、6)について取組 (2)、4)、6)について取組 (3)、5)について取組 (4)、1)、5)について取組 (5) (7)、6)について取組 (6) (7) (7) (7) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 品目 品目 日本
3.2.1 再生材利用率 1.0 級体材料の 3.2.2 廃棄物処理負債	(下)と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制)	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目
3.2.1	(下)と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない 伊用年数 の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理.1,3.4.2,3.3 の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理.1,3.4.2,3.3 等 受変電の。空調機15、ポンプ類25 の自給率向上 等 (1)、2)、4)、6)について取組 (1)、2)、4)、6)について取組 (2)、4)、6)について取組 (3)、5)について取組 (4)、1)、5)について取組 (5) (7)、6)について取組 (6) (7) (7) (7) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目
3.2.1 再生材利用率 1.0	(下)と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない 伊用年数 の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理.1,3.4.2,3.3 の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理.1,3.4.2,3.3 等 受変電の。空調機15、ポンプ類25 の自給率向上 等 (1)、2)、4)、6)について取組 (1)、2)、4)、6)について取組 (2)、4)、6)について取組 (3)、5)について取組 (4)、1)、5)について取組 (5) (7)、6)について取組 (6) (7) (7) (7) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 日本
3.2.1 再生材利用率	(下と2の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない 神	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目
3.2.1 再生材利用率 1.0	(市)と②の平均で評価する (市)和制 評価しない (市)和制 評価しない (市)和制 評価しない (市)和制 評価しない (市)和制 評価しない (市)和制	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 経過年数+今後の想定耐用年 65 年 4.3の平均 更新年数の平均値 23 自給率向上の取組数 項目 維持管理に関する取組数 9 指標 評価値 ない なし 会取組表による場合のポイント 3 ポイント なし 鉄道駅またはバス停からの距 2 分圏内 取組数 3 項目 リスクの合計数 3 種類 指標 評価値
3.2.1 再生材利用率	(下)と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制)	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 日本
3.2.1 再生材利用率	(下と2の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない 神 所年数 (の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理.1,3.4.2,3.6 (の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理.1,3.4.2,3.6 (の更新必要間隔 (受量電)の空間機15、ポンプ類25 (の自給率向上 等 1)、2)、4)、6)について取組 (ませいないことを確認) (向上 等 1)、3)、5)について取組 (アラウンフィールド再生 等 土地の形質に作う措置 (の接近性 (の接近性 (の接近性、敷地周辺への配慮 等 (本存後を分圏内 (の接近性、敷地周辺への配慮 等 (本存後を分圏内 (の接近性、敷地周辺への配慮 等 (本存後を分圏内 (の接近性、敷地周辺への配慮 等 (本存後を分圏内 (の接近性、敷地周辺への配慮 等 (本存後を分圏内 (の接近性、敷地周辺への配慮 等 (本存後を分圏内 (の接近性、敷地周辺への配慮 等 (本存後を分圏内 (の接近性、敷地周辺への配慮 等 (本存後を分)と (本存後を分)と (本存後を分)と (本存後を分)と (本存後を分)と (本存後を分)と (本存後を分)と (本存後を)と (本存を)と (本存後を)と (本存を) (本存を) (本	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 経過年数+今後の想定耐用年 65 年 4.3の平均 更新年数の平均値 23 自給率向上の取組数 項目 指標 評価値 はない なし 鉄道駅またはバス停からの距 2 分圏内 取組数 3 項目 リスクの合計数 3 指標 評価値 なし 指標 評価値 なし
3.2.1 再生材利用率 3.2.2 廃棄物処理負 4.0 5 3.3 躯体材料の 3.2.2 廃棄物処理負 4.0 3.4.1 主要設備機器 4.0 3.4.1 主要設備機器 4.0 3.4.2 設備(電力等) 4.0 4.0 3.4.3 維持管理 4.0 4.0 5 4.1 生物多核性/数地野価 最大加点	(市)と②の平均で評価する (市)和制 評価しない (市)和制 評価しない (市)和制 評価しない (市)和制 評価しない (市)和制 評価しない (市)和制	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 経過年数+今後の想定耐用年 65 年 4.3の平均 更新年数の平均値 23 自給率向上の取組数 項目 指標 評価値 はない なし 鉄道駅またはバス停からの距 2 分圏内 取組数 3 項目 リスクの合計数 3 指標 評価値 なし 指標 評価値 なし
3.2.1 無生材利用率 1.0	(下と2の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない 神 所年数 (の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理.1,3.4.2,3.6 (の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理.1,3.4.2,3.6 (の更新必要間隔 (受量電)の空間機15、ポンプ類25 (の自給率向上 等 1)、2)、4)、6)について取組 (ませいないことを確認) (向上 等 1)、3)、5)について取組 (アラウンフィールド再生 等 土地の形質に作う措置 (の接近性 (の接近性 (の接近性、敷地周辺への配慮 等 (本存後を分圏内 (の接近性、敷地周辺への配慮 等 (本存後を分圏内 (の接近性、敷地周辺への配慮 等 (本存後を分圏内 (の接近性、敷地周辺への配慮 等 (本存後を分圏内 (の接近性、敷地周辺への配慮 等 (本存後を分圏内 (の接近性、敷地周辺への配慮 等 (本存後を分圏内 (の接近性、敷地周辺への配慮 等 (本存後を分圏内 (の接近性、敷地周辺への配慮 等 (本存後を分)と (本存後を分)と (本存後を分)と (本存後を分)と (本存後を分)と (本存後を分)と (本存後を分)と (本存後を)と (本存を)と (本存後を)と (本存を) (本存を) (本	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 経過年数+今後の想定耐用年 65 年 4.3の平均 更新年数の平均値 23 自給率向上の取組数 項目 指標 評価値 はない なし 鉄道駅またはバス停からの距 2 分圏内 取組数 3 項目 リスクの合計数 3 指標 評価値 なし 指標 評価値 なし
3.2.1 無生材利用率 1.0	(市) おいました。 (市) おいました。 (市) があります。 (市) がおります。 (市) がわります。 (市) がおります。 (市) がわります。 (市) がおります。 (市) がわります。 (市) がわります	リサイクル材品目数(非構造材 2
3.2.1 再生材利用率 1.0	(下)と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない 神配	リサイクル材品目数(非構造材 2
3.2.1 無生材利用率	(市 7 日本) (リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 経過年数十今後の想定耐用年 65 年 4.3の平均 自給率向上の取組数 項目 維持管理に関する取組数 9 ボイント なし ②取組表による場合のボイント 3 ボイント なし 鉄道駅またはバス停からの距 2 分圏内 取組数 3 項目 リスクの合計数 3 種類 指標 評価値 なし 引用車 % 昼光利用設備 種類
3.2.1 再生材利用率 1.0	(下)と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない 神配	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 経過年数+今後の想定耐用年 65 4.3の平均 年 自給率向上の取組数 項目 維持管理に関する取組数 9 指標 評価値 なし ②取組表による場合のポイント 3 なし 鉄道駅またはバス停からの距 2 分圏内 取組数 3 項目 リスクの合計数 3 種類 指標 評価値 なし 3 種類 指標 評価値 なし 3 種類 開口率 %
3.2.1 再生材利用率	(下)と②の平均で評価する 高炉セメント ビニル床他 (荷抑制 評価しない 神 配 要	リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 経過年数+今後の想定耐用年 65 東新年数の平均値 23 自給率向上の取組数 項目 指標 評価値 ない 3 なし 分圏内 取組数 3 項目 リスクの合計数 3 種類 指標 評価値 なし 3 種類 日本 % 種類 昼光利用設備 種類 自然換気有効開口面積 8.9 ㎡
3.2.1 再生材利用率	(市 7 日本) (リサイクル材品目数(非構造材 2 品目 経過年数十今後の想定耐用年 65 年 4.3の平均 自給率向上の取組数 項目 維持管理に関する取組数 9 ボイント なし ②取組表による場合のボイント 3 ボイント なし 鉄道駅またはバス停からの距 2 分圏内 取組数 3 項目 リスクの合計数 3 種類 指標 評価値 なし 引用車 % 昼光利用設備 種類

1

ロジポート堺南島町

無断転載禁止



環境性能の特徴

エネルギー性能は、運用面での実績について省エネルギー性能が高いことを示している。 いる。 二重鋼管ブレースの採用、保有水平耐力の余裕度が通常より高く、耐震性に優れている。 高炉セメント、ビニル床等の再生材を使用している。建物維持管理のため、清掃管理と設備管理おいて、定期清掃の点検・実施の記録をしている。 最寄のバス停徒歩分2圏内、阪神高速道路15号線住之江ICより約1km圏内に好立地に位置している。

評価機関、評価員記名欄		
57571W 8857 & 188		
認証機関記名欄		

ロジポート堺南島町

2

無断転載禁止